

2011(平成23年)

広報 びらとり

2

No.602

はじめてのスキー、楽しいね！



初心者スキー教室（日高町）

今月号は…

- 第5次平取町総合計画 後期5か年実施計画を答申
- 平成21年度 一般会計決算報告
- 町の取り組み
- 町のひろば
- 平成23年 平取町成人式
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

第5次 平取町総合計画後期



5 年実施計画を答申

平成 18 年度からスタートした、町政運営の指針である第 5 次平取町総合計画は、計画期間 10 年の折り返しの年度を迎えることとなりました。

23 年度からの後期 5 年計画は、町民代表の 30 名からなる平取町総合計画審議会（会長 藤岡光男氏）で慎重に協議が行われ、この度、町長に答申されましたので、その概要等についてお知らせします。

総合計画とは

この計画は、情報公開と町民の町政運営への参加による協働のもとに、町づくり事業を各分野として年次ごとに策定するものです。

第 5 次となる現在の計画は、「一人ひとりがまちづくりの主役です。輝くびらとり未来^{あす}につなごう」を基本テーマとして、町民が描く将来像を実現するための理念と、まちづくりの基本的な方向性を示す「基本構想」を計画全体の柱としています。また、基本構想で策定された将来像を実現するための必要な施策を体系化し、具体的な事業を列挙したものを「実施計画」としています。

前期計画の特徴

国の経済対策交付金等による事業が実施されたことにより、当初の計画が前倒しとなったことなど、計画実行においては変動がありました。概ね計画どおり推移した内容となっています。

また、基本計画において目標としていた町民主権による自治を確立するための「自治基本条例」が制定され、平成 20 年度から施行となりました。

後期計画の特徴

当初、計画された後期 5 年計画（展望計画）との整合性とこれまでの実績等を精査するうえで、住民ニーズを的確に捉え、福祉及び生活環境の向上と産業の振興等を一層図る内容となっています。

まちづくりの目標と展望

まちづくりの目標は、「町民が幸せを感じ、健康的であり、文化的であり、豊かで安心できる輝かしい未来がある町」にあります。

厳しい財政環境の中、少子高齢化・過疎化の進行など、多くの行政課題を抱えています。ただ今、考えを凝らし、将来を担う町民に夢と希望をもたらす、まちづくりが望まれています。

平取町総合計画後期 5 年 審議経過

平成 22 年	5 月 25 日	第 1 回総合計画審議会
	8 月 30 日	第 1 回 教育・保健福祉部会 産業・まちづくり部会
23 年	12 月 9 日	第 2 回 教育・保健福祉部会 産業・まちづくり部会
	12 月 20 日	第 2 回総合計画審議会
23 年	1 月 12 日	第 3 回総合計画審議会
	1 月 14 日	審議会からの答申



総合計画審議会 (1 月 12 日)

第5次総合振興計画

後期5か年における

主な事業計画

❖教育・文化の推進

- 学校校舎・屋体改修整備
 - 体育館改修整備
 - 図書資料の充実
 - 給食用備品整備
 - スクールバス整備
 - IT教育用パソコン整備
 - 芸術鑑賞会等の開催
 - 公民館維持改修
 - イオル整備の推進
 - アイヌ伝承活動の推進
 - アイヌ文化普及啓発
 - 博物館特別展・各種講座の開催
 - アイヌ文化国際交流の推進
 - 埋蔵文化財調査
 - 文化的景観の啓発
- ### ❖保健・医療・介護・福祉の充実
- 子育て医療費還元
 - 食育計画の実践
 - グループホーム整備
 - ケアホーム整備支援
 - かつら園補修支援
 - ウタリ住宅整備支援
 - デザイナービスの充実



❖産業の振興

- 中山間平取南地区整備
- 水稲共同利用施設整備
- 実践農場整備
- 新規就農者対策の推進
- 牛肉消流対策と食育支援
- 町有林造成・民有林活性化
- 美しい森林づくり基盤整備
- エゾシカ・害獣対策の推進
- 地場産業振興融資
- 商工業振興対策の推進
- 住宅改修支援と景気対策
- 幌尻山荘改修
- 企業誘致の推進
- びらとり温泉改築

❖生活環境の向上

- 町道の整備
- 橋梁整備計画の策定
- 路線バス維持費支援
- 地域公共交通再編検討
- 地デジ移行に伴う施設整備
- 治山施設整備
- みどり豊かな環境整備推進
- ニセウエコランド整備
- 公営住宅整備
- 定住分譲宅地整備
- 若者地域体験移住の促進
- 生活雑排水処理施設整備
- 浄化槽整備促進
- ダム水源地域の振興
- 新エネルギー導入推進

❖町民・行政活動の充実

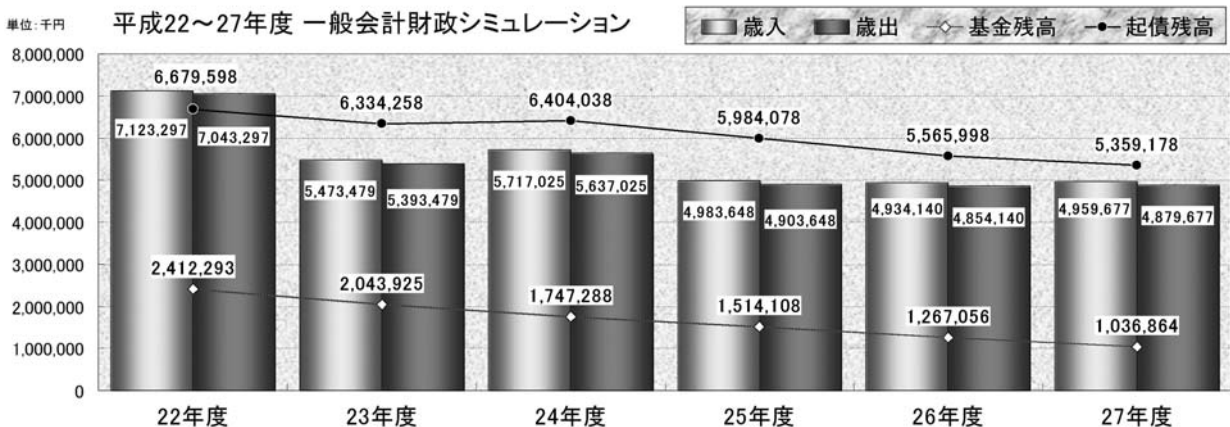
- 生活館・集会施設整備
- コミュニティ活動支援
- 財務会計システムの導入

❖ごみ処理施設・消防の整備

- 焼却・破砕処理施設整備
- 消防車整備
- 救助資材整備
- 待機宿舎の改修
- 消防無線デジタル化

❖国保病院・水道施設の整備

- 人工透析診療機器等導入
- 本町外簡易水道施設整備



※ 基金残高～特定目的のために資金を積み立てるなどし、運用するために設ける財産(貯金に相当するもの)
 ※ 起債残高～事業を行うときに国や銀行から借りた資金の残高(借金に相当するもの)

平成21年度 一般会計

決算報告

平成21年度の一般会計の決算状況をお知らせします。

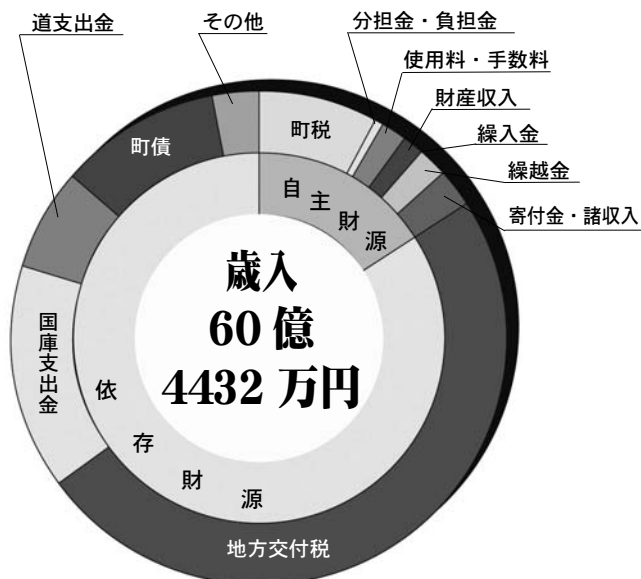
歳入総額は60億4432万円、歳出総額は58億9912万円となりました。

町の貯金となる基金は、前年度末より9200万円ほど増え22億2036万円、また、町の借金となる町債の残高は3億6814万円少ない68億4385万円となっています。さらに、町財政の健全化の目安となる「実質公債費比率」等も、前年度より大幅に改善した数値を示しています。

将来的に、地方財政を取り巻く環境はさらに厳しさを増すことが予想されることから、今後とも総合計画を基調とし、効率的な財政運営のもと、地域経済の振興と町民の生活支援を優先課題ととらえ、安心・安全な生活ができる町づくりに向け、努力してまいります。

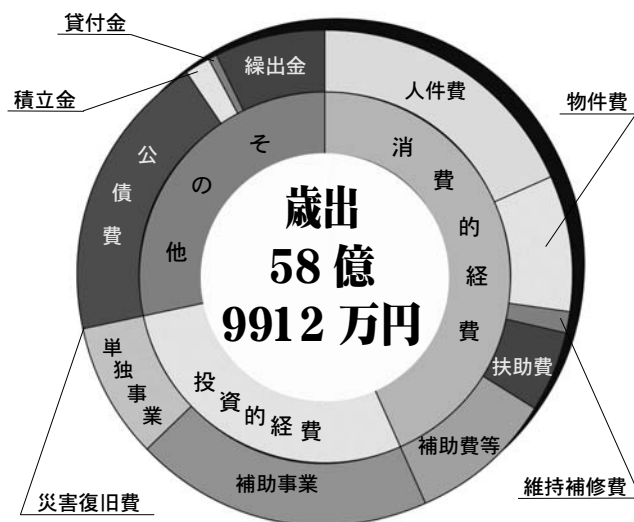
財源別決算額

区分	決算額	構成比	前年比
町税	4億7843万円	7.9%	△5.2%
分担金・負担金	3681万円	0.6%	9.2%
使用料・手数料	1億570万円	1.7%	△4.7%
財産収入	7306万円	1.2%	11.2%
寄付金	685万円	0.1%	107.8%
繰入金	140万円	0.1%	△99.7%
繰越金	1億806万円	1.8%	21.1%
諸収入	1億6255万円	2.7%	△1.1%
小計	9億7286万円	16.1%	△33.4%
地方交付税	29億5681万円	48.9%	0.4%
国庫支出金	8億9569万円	14.8%	94.4%
道支出金	4億1223万円	6.8%	59.6%
町債	6億2970万円	10.4%	56.4%
その他	1億7703万円	3.0%	△5.7%
小計	50億7146万円	83.9%	19.2%
歳入合計	60億4432万円	100.0%	5.7%



性質別決算額

区分	決算額	構成比	前年比
消費的経費			
人件費	10億8635万円	18.4%	△0.6%
物件費	5億2883万円	9.0%	△2.5%
維持補修費	7914万円	1.3%	12.3%
扶助費	3億684万円	5.2%	0.4%
補助費等	5億6062万円	9.5%	△10.5%
小計	25億6178万円	43.4%	△2.9%
投資的経費			
補助事業	11億5754万円	19.6%	136.9%
単独事業	5億1371万円	8.7%	30.7%
災害復旧費	31万円	0.0%	△99.6%
小計	16億7156万円	28.3%	73.6%
その他			
公債費	11億2404万円	19.1%	△5.9%
積立金	9341万円	1.6%	384.8%
貸付金	2284万円	0.4%	△86.5%
繰出金	4億2549万円	7.2%	△31.9%
小計	16億6578万円	28.3%	△17.0%
合計	58億9912万円	100.0%	5.2%



■平成21年度決算の財政指標■

自治体の財政破たんを未然に防ぐために、国では平成19年に財政健全化法を定めました。

この法律は新たな財政指標により、財政悪化をチェックするとともに、特別会計も合わせた連結決算で、自治体の財政状況を明らかにしようとするものです。

平成20年度の決算からは、次に示す指標のいずれかが基準を上回った場合に、「財政健全化団体」及び「財政再生団体」に指定されます。会社为例えると、「財政健全化団体」は、倒産にはならないが経営状態があまりよくない会社で、「財政再生団体」は、倒産にあたるものです。自治体には、財政の健全化に向けた計画の策定など、さまざまな制約が課せられることとなります。

平取町の21年度決算では、いずれの指標も早期健全化基準を下回っていますが、今後、行財政改革の推進を図り、健全な財政運営に努めてまいります。

■財政指標 (1)

	平取町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	17.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	0.2%	350.0%	なし

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がないため、比率は発生しません

実質赤字比率

福祉や教育、消防や道路建設など行政運営の基本的な経費をまとめた一般会計における赤字の程度を指標化したもの

連結実質赤字比率

町の全ての会計の赤字や黒字を合算したうえで、町全体の赤字の程度を指標化したもの

実質公債費比率

一般会計の借入金返済額のほか、特別会計の借入金に対する負担額や借入金に準じた経費の負担額を合算して指標化したもの

将来負担比率

実質公債費比率の算定に基づく経費のほか、職員の退職手当、設立した法人や一部事務組合などの負債のうち、一般会計が将来負担する可能性のある額の大きさを指標化したもの

■財政指標 (2)

		平取町	財政再生基準
資金不足比率	国保病院特別会計	14.3%	20.0%

資金不足比率

国保病院特別会計の赤字額を、料金収入などの事業規模と比較して指標化したもの